

平成28年度

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

事業計画書

附 事業計画に関する附属明細書

公益財団法人 木村看護教育振興財団

平成 28 年度 事業計画書

1 海外看護研修助成－長期海外研修（公募事業）－

看護師・助産師・保健師の資格を有する者であって一定の英語力を有するものを対象として、3 週間の研修に要する研修費、滞在費、往復航空運賃等を全額助成する。

① 研修先

アメリカ合衆国ミネソタ州ロチェスター所在 メイヨークリニック

② 研修対象者

本年 2 月 25 日(木)に選考委員会を開催し応募者 19 名について審議した。選考の結果、11 名が助成対象候補者となった(27 年度と比べて 3 名増)。

なお、このうち 4 名は今年 13 日の試験で一定の英語力があることを示すことが条件とされている。

③ 研修期間

平成 28 年 9 月中旬から 3 週間

2 看護研究助成（公募事業）

医療機関等で実際に看護等の業務に携わっている看護師・助産師・保健師の資格を有する者又はそのものを含む研究グループを対象として、1 件当たり 100 万円を限度として看護研究費を助成する。

本年 2 月 25 日(木)に選考委員会を開催し応募 44 件について審議した。選考の結果、9 件が助成対象候補となった（27 年度と比べて 2 件増）。

3 専門看護師奨学金助成（公募事業）

看護系大学大学院専門看護師教育課程の 2 年次進級予定者に対し、1 件当たり年額 60 万円の助成を行う。

本年 2 月 25 日(木)に選考委員会を開催し応募者 39 名について審議した。選考の結果、13 名が助成対象候補者となった（27 年度と比べて 4 名増）。

4 看護に関する講演会の開催

平成28年度も大都市圏で開催する講演会と一定規模の県で開催する講演会を各1回開催する。

(1) 東京における講演会

- ① 日時 平成28年11月5日(土) 13時30分～17時
- ② 会場 東京都千代田区霞が関 新霞ヶ関ビル
- ③ 演題 高度高齢社会における地域の医療看護体制構築のための急性期から在宅までの医療・看護連携の在り方(仮題)
- ④ 構成 基調講演とパネルディスカッション
- ⑤ 講師
ア 基調講演者
産業医科大学 松田晋哉教授
メイヨークリニック上級ナース
イ パネルディスカッション
我が国の医療看護関係者
メイヨークリニック上級ナース

(2) 富山県における講演会

- ① 日時 平成28年11月19日(土) 13時～16時
- ② 会場 富山県富山市
- ③ 講師 宮崎和歌子氏 全国訪問看護事業協会事務局長
- ④ 演題 在宅医療分野の課題について検討中。

5 調査研究

(1) 特定領域における研修についての調査(継続)

臨床看護に携わる看護師が、社会的な対応が特に急務とされている特定の看護領域で高度な知識・技術を習得することを支援するため、ニーズの把握、研修条件の整理等、研修の実現に向けて調査を行う。

(2) 在宅看護に係る研修についての調査(継続)

病院・診療所・訪問看護ステーションの連携強化等による地域包括ケアの推進に寄与するため、病院等で看護業務に携わる看護師が在宅療養移行支援に必要な知識と技術を習得することができる研修の仕組みについて調査する。また、訪問看護に関わる支援の仕組みについても、引き続き調査を行う。

6 刊行物の発行等

海外看護研修レポートについて、医療機関等の看護職や関係団体・機関における活用を広げるため、研修レポートの充実を図るとともに、発行部数を増やし配布先を拡大する。

看護研究収録についても、同様の考えから発行部数の増加・配布先の拡大を図る。

更に、昨年11月に開催した東京講演会についても、講演録を作成・配布し、医療機関や関係団体・機関の方々の参考に供する。

7 その他

- (1) 海外看護研修の研修生に対して、平成28年6月を目途に認定式及びオリエンテーションを実施する。また、12月を目途に研修報告会を開催する。
- (2) 看護研究助成及び専門看護師奨学金助成の対象者に対して、平成28年6月を目途に助成金贈呈式を行う。
- (3) 今秋米国から来日するメイヨークリニックの看護師が我が国の看護系大学院やナショナルセンター、病院等で交流と視察を行うに当たり、連絡調整や支援を行うとともに、日本の看護関係者との交流の機会を設ける。
- (4) 本財団のこれまでの助成事業の対象者や関係各方面の関係者の方々相互の交流を深めるため、幅広い看護関係者の集いを開催する。

平成 28 年 度

事業計画に関する附属明細書

- 1 海外看護研修助成対象者名簿
- 2 看護研究助成対象者名簿
- 3 専門看護師奨学金助成対象者名簿

1 平成28年度 海外看護研修助成対象者名簿

メイヨークリニック 11名

敬称略 五十音順

氏名	勤務先	職名
おいかわ あつこ 及川 敦子	国立国際医療研究センター病院	副看護師長、がん化学療法看護認定看護師 (看護師)
こばやし まさみつ ※ 小林 成光	国立がん研究センター東病院	がん看護専門看護師 (看護師・保健師)
さとう やすこ 佐藤 寧子	国立病院機構 東京医療センター	精神看護専門看護師 (看護師・保健師)
すがやま ひろみ ※ 菅山 弘美	順天堂大学医学部附属順天堂医院	看護師 (看護師)
つむら あけみ ※ 津村 明美	静岡県立静岡がんセンター	がん看護専門看護師 (看護師・保健師)
なかむら ひとみ ※ 中村 仁美	順天堂大学医学部附属順天堂医院	看護師 (看護師)
ながやま ゆきこ 長山 由紀子	社会福祉法人恩賜財団水戸済生会総合病院	看護師 (看護師)
まるやま りえ 丸山 理恵	済生会横浜市東部病院	老人看護専門看護師 (看護師・保健師)
やなせ かな 柳瀬 加奈	兵庫県災害医療センター	看護係長、救急救命士 (看護師・保健師)
やまぐち みちよ 山口 美千代	国立病院機構北海道医療センター	副看護師長 (看護師)
よこた ゆみこ 横田 優美子	東北大学病院	看護師 (看護師・保健師)

※小林氏、菅山氏、津村氏、中村氏については、3月13日(日)受験予定のTOEICのスコアが600点以上の場合、助成対象とする。

2 平成28年度 看護研究助成対象者名簿

敬称略 五十音順
単位:千円

9件 6,943千円

代表研究者 氏名	勤務先	職名	研究課題	助成額	申込額
あらはたしとこ 新幡 智子	慶應義塾大学 看護医療学部	専任講師	専門的緩和ケア看護師教育プログラムの有効性の検証 ー臨床実践における自己評価と他者評価ー	1,000	1,000
いしい あやこ 石井 絢子	東京大学大学院医学系研究科	大学院生	全国の急性期病棟における看護補助者・看護師の就業状況実態調査 ー看護師・患者アウトカムとの関連ー	1,000	1,000
うえざき ひでお 上杉 英生	国立がん研究センター東病院	看護師長	認定・専門看護師による診断・治療開始時期のがん患者と家族へのオリエンテーション・プログラムの開発	500	1,000
うめざわ みづほ 梅澤 路絵	関西労災病院	看護師長	大腿骨近位部骨折で治療を受ける高齢患者のせん妄発症予防プログラムの提案 ーテキストマイニングによる看護師の予測・判断の分析からー	360	360
おかもと まみこ 岡本 麻美子	日本医科大学武蔵小杉病院	助産師	経膈分娩に至った高年初産婦の妊娠期の血圧変動及び体重変動指標の開発 ー36歳未満初産婦の妊娠期の血圧変動及び体重変動の比較を通してー	863	863
おくの ぶみこ 奥野 史子	聖路加国際病院	精神看護 専門看護師	急性期総合病院におけるせん妄予防と対策 ーリスケアセサメントツールとせん妄軽症化を目標としたケアプログラムの開発ー	1,000	1,000
かなおか まき 金岡 麻希	九州大学大学院医学研究院保健学部	助教	肝移植後患者の生活習慣病と日常生活における身体的活動量に関する研究	900	1,000
しみず ぶみえ 清水 史恵	大阪府立箕面支援学校	特別非常勤講師 (看護師)	特別支援学校で医療的ケアを要する子どもをケアする学校看護師の離職予防対策の検討	620	820
ひがし めぐみ 東 めぐみ	東京都済生会中央病院	副看護部長 看護教育センター長	港区および周辺地域における地域包括ケアを推進する人材育成システムの構築	700	1,000
合 計				6,943	8,043

3 平成28年度 専門看護師奨学金助成対象者名簿

13名

敬称略 五十音順

氏 名	大 学 院 名	専 門 分 野
あつた えみ 熱田 恵美	神戸市看護大学大学院	小児看護
おしきり みか 押切 美佳	東北大学大学院	小児看護
くぼた みちよ 窪田 美智代	兵庫県立大学大学院	老人看護
ささき ゆか 佐々木 由佳	大阪府立大学	小児看護
しん ゆかこ 新 友香子	山梨県立大学大学院	急性・重症患者看護
すがさわ かつゆき 菅澤 勝幸	千葉大学大学院	がん看護
すがわ みゆき 須川 美幸	兵庫県立大学大学院	がん看護
ながの しょうこ 永野 晶子	大阪府立大学大学院	家族支援
ひろせ ともみ 広瀬 知美	名古屋大学大学院	小児看護
ふくだ ゆうこ 福田 侑子	山口大学大学院	急性・重症患者看護
みずしま かなこ 水島 加奈子	川崎医療福祉大学大学院	がん看護
みすみ もとこ 三角 素子	久留米大学大学院	感染症看護
よしだ まみ 吉田 麻美	大阪府立大学	在宅看護